



— 次代をになう子供たち —

11月1日、江南村は江南町になりました。
 多くの住民の方の努力の結晶です。これから
 も私たちの郷土江南が明るく住みよい町とし
 て発展していくようお願いいたしますね。

(写真は幼稚園の収穫祭から)



こうなん

広報

No.164

昭和60年11月15日

11月

[11月1日現在人口] 男 5,197人 女 5,232人 計 10,429人
 世帯数 2,667

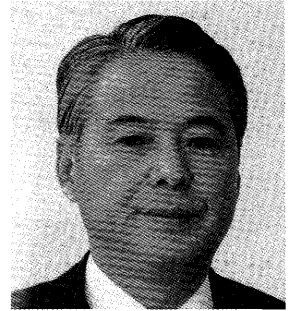
おもな内容

- 町制施行にあたり……………2～3
- こんな町になればなあ……………4～5
- 糖尿病にご注意……………6
- おしらせ……………7
- 59年度決算……………8～9
- フォトニュース……………10

にあたり

住民と共に 個性豊かなまち建設に努力

江南町長 柴田 忠 雄



合併して滿三十年を迎えた私たちの村が、十一月一日から町として生まれ変わりました。これまでの御協力に対し、改めて感謝申しあげます。

昨年八月、皆様からアンケートによって九〇パーセント近い町の希望が寄せられ、九月議会で全員賛成の議決をいただき、さつそく準備に取り掛かってまいりました。

年内には提出書類の審査、現地調査もパスし、本年二月二十五日県議会の議決が得られ、ここに十一月一日町制施行の線が固まりました。

町へ昇格する要件はほぼ整ってはいのですが、市街地を形成する区域内の戸数が、全体の五割を超えているという条件には、県の厳しいチェックが行われ、適合ラインに到達していることが認められました。役場の周辺は様変わりしてまいりましたが、全体的には未

だ緒に着いたばかりで、都市的発展を遂げるには、市街化区域を中心とした宅地造成が急務であると考えられます。県下でも数少ない鉄道のない町となるわけですが、山野、河川、拓かれた田園など調和した自然の地形に恵まれており、地域の評判もよいので、必ずや早期に達成できるものと信じております。

調整区域については、今後農業後継者の問題も含め、いかに農用地を保全していくか、又東部、西部及び南部に広がる山林開発の動向が飛躍の鍵で、これによって町民の生活体様も大きく変わると思います。

これまで皆様方の御理解御協力のお陰で教育、福祉諸施設や農業基盤、道路網など整備し、町としての発展基礎は固まりつつありますが、これから真に町としての風格と実力を備えていくため行政側に課せられた責務は非常に大きいものがあると痛感しております。

町制施行にあたり、江南の特色を活かした個性豊かな町建設に皆様と共に尽力いたす決意でありますので、この住み馴れた郷土がさらに伸展して行くよう尚一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

町制施行合併三十周年記念式典

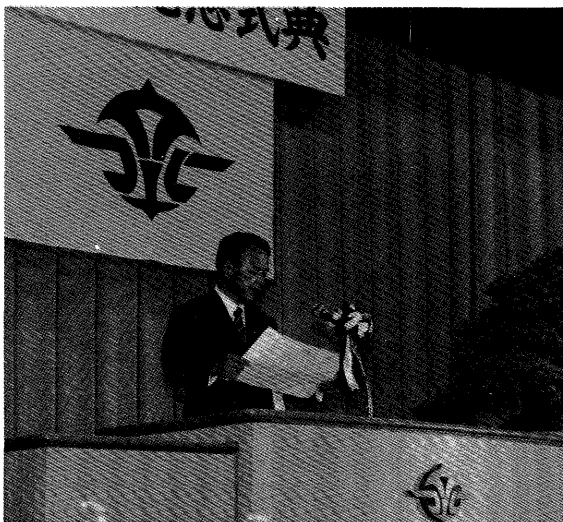
十一月一日町民体育館で行われる

十一月一日、小雨降る中町民体育館で町制施行、合併三十周年記念式典が行われました。また、午後一時からはアトラクションとして「むさし江南音頭」の発表会と民謡ショーが催されました。

式典は午前十時から始まりました。今井明助役の開式のことば、参加者全員による君が代の斉唱に続き、柴田忠雄町長が町制施行宣言、次いで式辞を述べました。あいさつが松本芳治町議会議長より

あつた後、村政に貢献された方々に団体を表彰状、感謝状が贈呈されました。来賓祝辞は、ご臨席の衆参両議員、近隣市町村長、県知事代理などの方々から寄せられました。謝辞として、被表彰者を代表して杉田弥平氏が謝辞を述べ、最後に塚田正久収入役の開式のことばで終了しました。

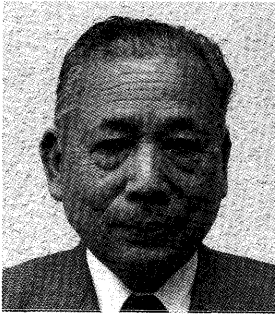
午後一時からは、午前中のおごそかな式典にかわり、にぎやかで楽しい雰囲気の中で、むさし江南音頭の発表



町制施行宣言をする町長

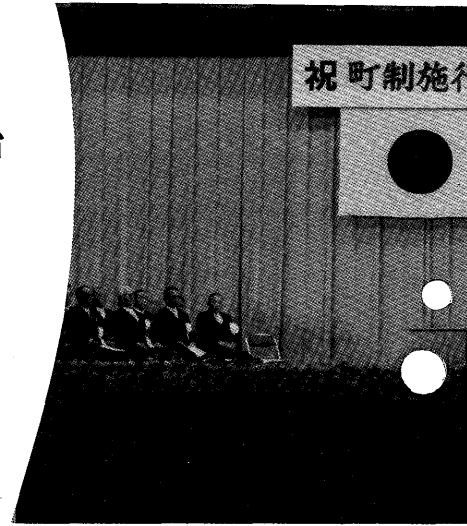
むさし江南音頭発表会では、音頭作成の経過報告、振付けや作詞・作曲をされた方への感謝状贈呈

町制施行



町制施行後の 発展を願って

江南町議会議長 松本芳治



江南町の皆さん、十一月一日より町制施行になり誠にめでたうございます。当日は村内外より五百名の御参会を得て合併三十周年と江南町誕生の祝典が行われ、行政、教育、産業、福祉等に貢献された多数の方々に感謝状が授与されました。御祝い申し上げます。省りみて、昭和二十八年頃より合併の話が持ち上り、県では江南五か村合併を役場、議会に指導していたので、それを受けて各村で委員を選出し十数回合合を行ったが、市町村は土地改良事業を行っていたので完了してからの難色が出たので市町村抜きでは吉見村は飛び地になるので合併条件にあわず、そこで御正、小原、吉岡の三か村合併でいくとの事で数回合議が開かれましたが、合併後の役場

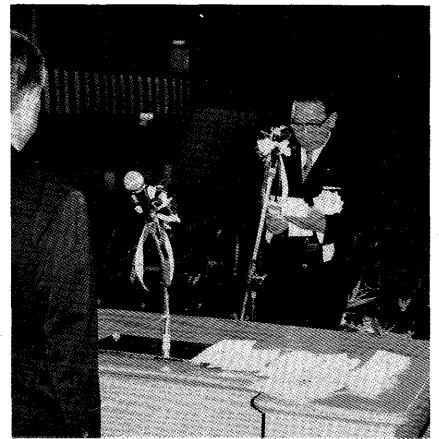
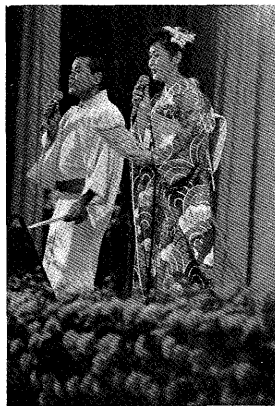
の位置を小原、御正では万吉の西南部へ新築する事を希望し、吉岡では吉岡の役場を使用するとの主張を譲らず、その合併の話の途中で吉岡は熊谷合併と変じてしまいました。熊谷市からは私の所へも数十人の人達が連日来られたが、私は御正村、小原村の合併を力説して、時の村長福田専助さん、笠原義信さんに話しかけ、第一回代表者会議、第二回議会議員、区長その他の委員の合合を今の北小学校の連通教室で行い、江南村の産声がありました。

そして十年、昭和四十年六月十八日に私は村長として合併十周年役場庁舎落成、全村水道完成の三大祝典を挙行いたしました。今ここに合併三十周年と江南町の誕生の御祝を議長として再度主催側として参加出来ましたことを喜んでおります。今後ますます発展する江南町は庁舎の増築、健康センター、福祉施設、運動公園、文化会館の建設等、住みよい町づくりを目指して議会議員一同力を合せて努力精進しております。皆様方の御多幸と江南町発展の前途を祈念して御祝の言葉といたします。



中学校校庭で総おどり

むさし江南音頭を歌う
鈴木、藤のお二人



謝辞を述べる杉田氏

の後、音頭の発表と振付披露が行われました。閉会の後、民謡ショーに移り、民謡歌手の鈴木正夫、藤みち子さんが集まった人たちを楽しませてくれました。その後体育館内をいっばいに使って江南音頭を踊ったのち、中学校校庭で総おどりを行了幕を閉じました。

江南町——まだなんとなく耳馴れない言葉かもしれません。でもまちがいなく私たちが生れ、育ち、今も毎日生活している私たちの「町」なのです。

十一月一日から江南町となりましたが、南小と北小の児童六人に「こんな町にしたい、なつてもらいたい」という内容の作文を書いていただきました。

なればなあ～

江南村から江南町へ

南小五年 内田 順子

十一月一日、江南村から江南町になります。この話を聞いた時、とてもうれしくなりました。現在の江南村は緑が多く、私の家の周りでも春にはうぐいすの鳴き声で目が覚めたり、野ばとが飛んでいたり、きじの鳴き声も聞こえたり



して非常に自然に恵まれていきます。道路も整備されてきました。人口も急が増え、私の住んでいる地区も商店が多くなり、生活にかかせない物もすぐ間に合うようになりました。

これからも町民として、大沼公園や平山家の旧跡を訪れる人たちに緑の多い江南町だと思われよう自然を大切にしていきたいと思えます。

江南町になるにあたって

北小五年 福田 正尚

村が町になるので、住宅や店などがふえてきました。ぼくの村は、山や森や田畑がたくさんあります。森では、小鳥のさえずりも聞こえてきます。でも、だんだん森が消えていってしまいます。森や林だった

江南村が江南町に

北小四年 小菅 美穂

私は、一年生の三学期に北本市から転校してきました。ずいぶん森林が多いなあと思つたのは、最初に北小へ登校する時でした。それから、江南村が大変気に入りました。



今年の十一月から、この村が町になると聞いてびっくりしました。道を広くしたり、江南町音頭ができたり、総合運動場を造るという知らせがくばられたりしました。

きつと、みんながよい町にしようと思つているのでしょう。みんなが協力できる町、ゴミのないきれいな町、緑が多く気持ちのよい町、そんな町ができたらいいなと思います。町になる日が、まちどおしくてたまりません。

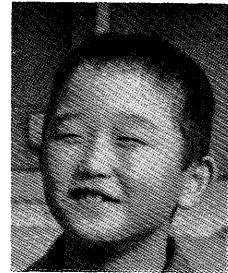
江南町を美しく

南小六年 水野 敦史

今、江南村には、緑がたくさんある。しかし、その緑は、たいへんよごされている。江南は、村から町になるのだから、自然を守り、自然をきれいにしなければならぬと思う。自然や緑をよごしたり、きずつけたりすればどんどん自然はへっていきだろ。江南町を、これ以上よごさないように、江南町の緑をこれ以上きずつけないようにし、守りつづけ、

— 私たちのまち江南 —

こ ん な 町 に



ところがけずられて、公園や住宅にかわってしまいます。でも、村が町になるのは、うれ

しいし、いいことだと思います。ぼくは、町になっても、森や林が多い方がいいと思います。森や林をずっとかく保しておいてほしいと思います。

江南町になっても、美しい自然と緑にかまれた、すばらしい江南のままでいてほしいと思います。

美しい江南町に

南小四年 柴 宗樹



ぼくは、町ということばから、にぎやかな感じを受けます。人口もふえていいことですが、今の江南村の緑の野山やきれいな川などはなくしたくないものです。江南

村は、自然にめぐまれ、野鳥の多い村で有名でした。住宅や工場を作る時にいろいろ考えて、森や林を多く残して「埼玉県の中で一番緑の多い町」と言われるようにしたいです。森や林を多く残すには山火事を防がないと困ります。こんな災害を防ぐことによつて、平和で美しい江南町が作れると思います。ぼくは今から江南町になるのを楽しみにしています。もちろんぼくも自然は大切にします。



ぼくたちが、おとなになった時、こうがいにこまらず、とてもすみやすく、きれいな、江南町になるように、一人一人が気をつかい、自然を守っていかなければならぬと思う。

江南町になって

北小六年 福 田 知恵子



わたしは、江南町になつてまず公園や商店街などみんなの集まる場所がほしいと思います。江南町のどこに行つても友達がいるなんてすてきです。そして昼間はとてにぎやかで楽しく、夜は虫の声も

きこえるような静かな江南町になつてほしいと思います。だけど人口がどんどん増えて、緑や水田がなくなつてしまつたらどうしようと心配です。にぎやかで活発でも、緑が多くて自然な所がたくさんある江南町がいいなと思います。にぎやかで活発で楽しくて友達もいっぱいいて、緑と自然がある江南町をもっともっと大きくしていつてほしいと思います。

怖がることはないけれど

侮れない糖尿病

働き盛りの中年の体をジワジワとむしばむ糖尿病。年々増える傾向にある糖尿病は、自覚症状が出にくく、そのままほうっておくと心臓病や腎臓病、視力障害

などの余病を併発することもあります。中年になったら、まず糖尿病の検査を定期的に受けるようにして、早期発見・治療に心がけましょう。

なぜ

糖尿病になるのか

糖尿病は、すい臓から出るインスリンというホルモンの分泌が悪くなり、血液中の糖分がうまく体にとり込めなくなる病気です。インスリンが出にくくなる原因は、大きく分けて二つあります。ひとつには遺伝。調査によると、

過去に糖尿病になったことのある人がいる家系の場合、発病する可能性は、二五%から四〇%といわれます。もう一つは、肥満や精神的緊張、運動不足などがひき金となつて発病するケースです。このように、二つの原因が複雑にからみあつて発病しますが、特に次のような人は必要に応じて定期的に検査をうけ、糖尿病になつていないかどうかを確かめるよう

にしましょう。

- ▼両親や近い血族に糖尿病の人がいる人
- ▼四十歳を過ぎて太っている人
- ▼運動不足の人
- ▼血糖値はそれほど高くないのに尿から糖のでている人

十一月二十六日〜十二月二日

秋季火災予防運動

本格的な冬の火災シーズンが到来し、いよいよこれからが火災の多発期です。

十一月二十六日から十二月二日まで秋季火災予防運動が全国一斉に行われます。

本年の上半期における全国火災件数は、昨年と比較し減少となっていますが、約八分間に一件の割合で火災が発生しており、死者も一日当たり五人となっています。

糖尿病は、知らない間に進行していることがあります。早期発見のために、次のポイントを自分でチェックしてみましょう。思いあたる項目があるときは早目に病院へ行ってください。

- 1 のどがよく渇き、水をたくさん飲む。夜中に起きて飲むこともある。
- 2 尿の回数が多く、夜中に何度もトイレに起きる。量も多い。また、尿に甘ずっぱいようなにおいがある。
- 3 食欲が異常に高まることがあり、特に甘いものを好むようになった。

糖尿病発見—9つのチェックポイント

- 4 体重が急激に変化した。
- 5 できものができやすく、しかも治りにくい。皮膚がかゆくなることもよくある。
- 6 視力が低下した。
- 7 手足の先がしびれたり、感覚が鈍くなった。
- 8 性欲が低下する。女性の場合は月経異常が起ることもある。
- 9 全身がだるく、元気がなくなり疲れやすい。仕事に対する意欲が低下する。

このような兆候のない方も、年一回は定期検査を受け、早期発見に努めましょう。

の注意により十分防止できる原因がほとんどを占めています。火災予防運動の重点目標は次のとおりです。

- 一、身体不自由者等を中心とした死傷防止対策の徹底
- 二、家庭及び地域における防火対策の推進
- 三、百貨店、旅館、ホテル等不特定多数の者を収容する防火対象物に係る防火安全の確保
- 四、防災機器の普及の推進

以上の目標を積極的に推進して火災予防にご協力ください。



児玉テレビ局が開局

県北西部地域は東京タワーから遠く、都市化による建物などの影響でテレビのうつりが悪い地域の増加が予想されます。そのため放送業者に改善を要望していたところ、このほどNHKならびに東京民放五社のテレビ中継局設置が決まり、工事が始まりました。十二月には試験電波が発射され、皆様のところで良好にテレビが見られる予定です。

受信方法は、従来のアンテナ(東京・前橋用受信アンテナ)をLM型UHFアンテナに変更していた

※テレビ東京…17/テレビ朝日…19/フジテレビ…21/TBS…23/日本テレビ…25/テレビ埼玉…28/NHK総合…33/NHK教育…35/

■問合せ
児玉テレビ局受信促進協議会
☎〇四八五二二五―一八七二二

中学生の

農業体験学習

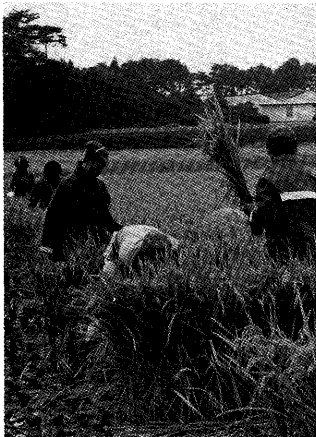
九月から十月にかけて、中学校では、県立農業教育センターの協力

で体験学習を行いました。体験学習とは、稲刈りや牛の健康観察などの農業を一日実際に体験し、その中から農業についての理解を深め、動物や植物を育てる喜びを知り、そしてよりよい人間関係をめざし、学習していこうというものです。

十月十四日には三年生を対象に

行われました。雨上がりで足もとの軟らかいなかでの稲刈りでは、かま

を使つての奮闘。教育センター職員の方の指導で、刈り取つたあと一本の稲についているもみの数を数えます。これは収穫量を調べるためとのこと。そして束ね、運び出して終了。その他粟の収穫などもあり、楽しい一日となつたようです。



県政モニター募集

■募集人員
二百人

■応募資格

県内に居住する満二十歳以上の方。ただし地方公務員、過去の県政モニター経験者除く。

■応募方法

官製はがきに、住所、氏名、年齢等を記入し申込む。

■申込み先

浦和市高砂三十五―一県民部
県民総務課

■締切り

昭和六十一年一月三十一日(金)

県住宅建設資金融資

昭和六十年度第三回の申込を行います。

■申込受付期間

十一月十五日～十二月十三日

■融資対象者

県内に申込受付開始日前一年以上引き続き居住し、県内に住宅を新築、購入(中古も含む)増築又は改修する者。

■問合せ

県住宅都市部住宅管理課

行政・心配ごと相談

■とき

十一月二十六日(火)午前九時三十分～正午

■ところ
母子健康センター

自衛官募集

■身分
特別職国家公務員

■給与等

十分一千四百円、賞与年三回
■その他
希望者は各種免許取得、定時制高校、大学二等等の教育を受けることができます。

■問合せ 熊谷募集事務所
☎二二四八五五

お誕生おめでとう

(敬称略)(内保護者)

〔九月中届出〕

成 沢

福田 舞衣 長女(治)

押 切

坂田 啓行 二男(力夫)

種 春

松本 亜由美 長女(優)

御正新田 大田 浩之 長男(正勝)

千 代

川崎 哲郎 二男(裕司)

馬場 麻里 長女(光義)

板 井

飯島 千晶 長女(敏弘)

野 原

斎藤 剛士 二男(秋則)

〔十月中届出〕

成 沢

橋本 剛 長男(正巳)

大澤 ちあき 三女(之男)

三 本

志村 洋平 長男(治人)

野 原

池口 好佳 四女(泰雄)

小 江 川

鈴木 葉月 長女(春彦)

福田 裕樹 長男(稔宏)

押 切

長谷川 巧 長男(淳)

千 代

根岸 由佳 長女(和男)

板 井

細井 洋介 長男(康之)

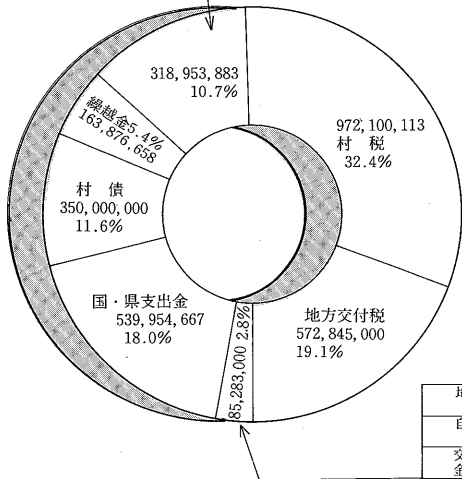
塩

利根田 裕子 二女(一布)

小林 綾子 二女(昇)

分損金及び負担金	38,443,145	1.3%
使用料及び手数料	19,798,105	0.7%
財産収入	37,826,012	1.3%
諸収入	25,681,075	0.8%
繰入金	197,205,546	6.6%

入れた金
お 30億301万3,321円



単位：円

59年度決算

わが町の家計簿

歳入 — 三〇億三〇一万三、三二一円
 歳出 — 二七億九、五六一万五、九三〇円

決算の
あらまし

昭和五十九年度の一般会計、各特別会計の決算が第三回定例議会で認定されました。

このうち、一般会計については歳入三十億三百一十三万三千三百二十一元、歳出二十七億九千五百六十一万五千九百三十円で決算されました。内訳はグラフのとおりですが、五十八年度と比べての伸び率は、国庫支出金が五倍強という高さになったのをはじめ、村税一三・一パーセント、村債二八・九パーセント、繰入金一七パーセントなどの伸びを示し、全体としては四七・一パーセント伸びました。

一方歳出では、教育費が伸び率で三三・一パーセント、歳出全体に占める割合でも三三・一パーセントと最も大きくなっています。これは中学校校舎の改築が行われ

— 特別会計 —

営ができるよう、現施設の有効利用と、各施設の維持管理に重点をおき、老朽管の布設替や北地区の漏水調査を実施しました。

なお、決算のあらまきは、次のとおりです。

- 給水戸数…………… 2,521戸
- 給水人口…………… 9,992人
- 有 収 率…………… 84.0%
- 1日最大配水量…………… 6,768m³
- 1日平均配水量…………… 4,264m³

収益的収入及び支出
 ○収入
 ●水道事業収益… 206,504,481円
 ○支出
 ●水道事業費用… 165,834,683円
 ○差引当年度純利益
 ……………40,669,798円

資本的収入及び支出
 ○収入
 ●資本的収入……………46,776,950円
 ○支出
 ●資本的支出……………83,830,680円
 ○差引不足額……………37,053,730円



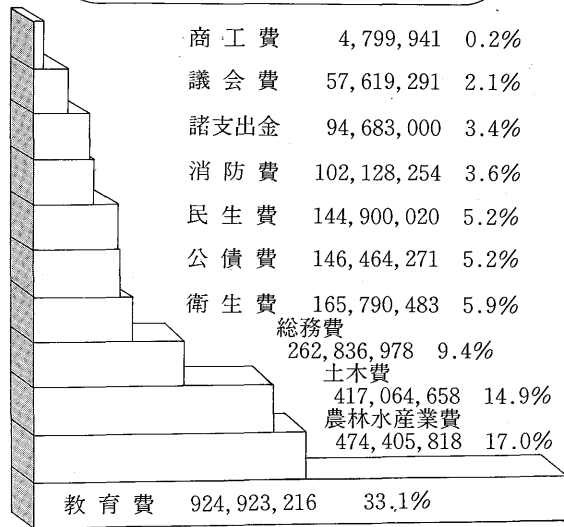
用語豆知識

● 地方交付税

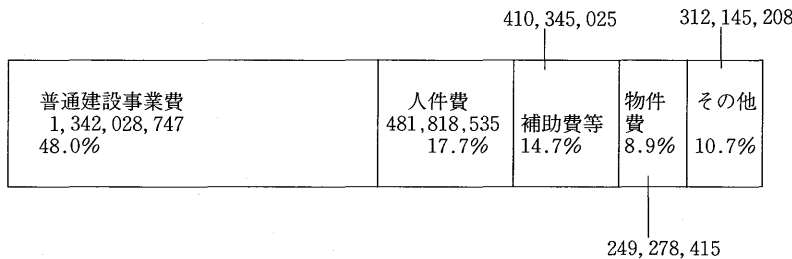
都道府県や市町村などの各自治体が、一定の行政水準のしごとが維持できるように、それぞれの財政状況に応じて、必要な財源を国が保障し、各自治体へおカネを配

分する制度。
地方交付税の総額は、国税のなかの所得税、法人税、酒税の国税の三二%と法律で定められている。
地方交付税は、国からわたされるおカネといっても、使いみちの定められた国庫支出金とは違い、各自治体独自の判断で自由に使い、使いみちに制限はない。

使った金 27億9,561万5,930円



性質別歳出



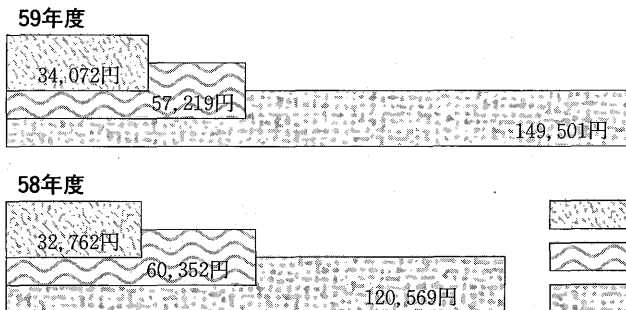
ためです。次いで土木費が前年度比二七・一パーセント増、農林水産業費一二・八パーセント増などとなって、歳出全体の伸びは前年度比四八・九パーセントでした。

特別会計

国保

歳入総額 301,895,681円、歳出総額 261,780,542円、歳入歳出差引140,115,139円の剰余金を残し決

1人当たり・保険税・保険給付費



算されました。

内容についてみますと(グラフ参照)歳入の保険税現年度分 115,436,930円で1人当り34,072円となり、歳出の保険給付費、169,085,291円で1人当り57,219円、老人保健拠出金64,734,189円で1人当り149,501円の支出となっています。

水道

昭和59年度の水道の使用量は、全体で昨年より7.6パーセント増の1,556,490立方メートルでした。

水の需要は、ここ2、3年小口径の一般家庭用については、住宅の新設により、増加しています。また、大口径の工場用等は、社会の情勢や経済の動向に左右され、平均すると使用量は横ばい状態となっています。

(主な建設改良工事)

本年度の主な建設改良工事は、区画整理区域内の配水管布設工事と、小江川、上新田地内の配水管布設工事及び、消防設備の拡充を図るための消火栓を五基新設しました。

また、水道事業の長期安定と独立採算による公営企業の健全な運

こんな大きいのがとれたよ

幼稚園で収穫祭

十月二十四日、幼稚園では秋の味覚、イモ掘りの大会が行われました。

あります。

午前十時、気持ちよく晴れた青空の下、イモ掘りは始まりました。

場所は幼稚園北側の畑。ここに園児や先生、父兄の方々が一生懸命作ったさつまいもとさといもが

裸足になった園児たちは、それぞれの組に割り当てられたさくごに掘っていき、さらに大きさによ



みんなで食べるおいしいいなー



こんな大きいのがとれました

って大きいもの、中くらいのものなどに分けられました。掘ったあとは、今度はみんなつしよにさつまいもの試食会。役員として参加したお母さんたちがふかしてくれたさつまいもを仲良くみんなで食べましたが、味もなかなかのものでした。



新校舎をバックに走る

見られました。種目で一生涯命にとり組む姿が

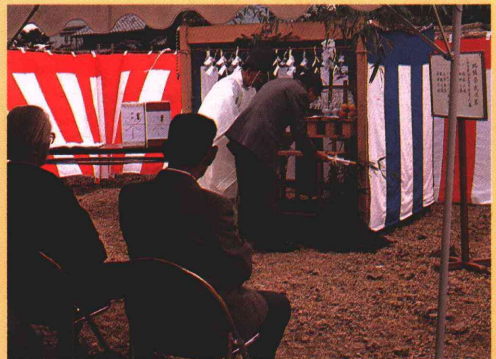
陸上記録会

小・中学校

十月二十五日、中学校校庭で、

大里村と合同の江南班小中学校陸上記録会が開かれました。秋晴れのこの日、八時半からの開会式に続き、競技開始。小学校は江南の南・北小、大里の市田、吉見小の四校。中学は江南、大里の二校が出場、百メートルや走り幅とびなど各種目で一生懸命

農協新庁舎の地鎮祭行われる



組合長のくわ入れ

10月22日、江南農協の新庁舎の地鎮祭が行われ、工事が安全に終了するよう祈願されました。いままでの庁舎は、旧江南村役場庁舎として昭和40年まで使われたり、最近では、テレビ映画の撮影場所になったりもしました。新庁舎は来年3月完成予定、鉄骨コンクリート造2階建ての建物になるということです。